

# 平成 20 年度 事業報告書

自 平成 20 年 4 月 1 日  
至 平成 21 年 3 月 31 日

## I. 事業の状況

### 1. 大学生への奨学金支給事業

#### (1) 大学貸与奨学生の採用

平成 20 年度奨学生は、平成 20 年 6 月 13 日に開催された奨学生選考委員会の選考を経て、160 名（内 8 名辞退）を採用した。期中に貸与した奨学生は 438 名、貸与奨学金は合計 2 億 836 万円である（別表 1）。

なお、昭和 40 年第 1 期奨学生採用以来、平成 20 年度までの採用貸与者数の累計は 2,324 名（別表 2）、貸与奨学金の累計は 22 億 3,875 万円となる。（別表 3）

#### (2) 大学給付奨学生の採用

平成 21 年度の大学入学予定者に対して、給付奨学生の募集を平成 20 年 6 月及び 10 月に行い、其々選考委員会の選考、面接を経て計 62 名が内定した。応募資格は、当財団が指定する公立高等学校の 3 年生で成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者（但し入学学部は理・工学系、医・薬学系を除く）。

当該内定者のうち、当財団指定の大学学部にて平成 21 年 4 月に入学した者に対し、最長 4 年間、月額 5 万円の奨学金を支給する予定であり、最終的に入学した者（採用者）は下記の 50 名となった（男性 19 名、女性 31 名；国公立 41 名、私立 9 名）。

—省略—

#### (3) 奨学生留学奨励金制度

選考委員会において、下記の 1 名を留学奨励金受給者に選考した。当奨励金は学校納付金、渡航費、寮費等の範囲で 100 万円を限度に提供するものである。なお平成 20 年度中の支給者は、過去に採用された 3 名に対し総額 146 万円を支給した。

—省略—

#### (4) 大学貸与奨学生の「成績優秀による奨学金返還免除者」選考

平成 21 年 3 月卒業者のうち、成績表、生活状況報告書、大学推薦書を基に平成 20 年 12 月の選考委員会による書類審査の上、面接を経て、理事長により返還免除者 20 名を選考した（男性 7 名、女性 13 名）。返還免除総額（固定資産減少分）は 2,784 万円となった。

—省略—

## 2、大学院生への奨学金給付事業

### (1) 大学院奨学生（国内）の採用・奨学金給付

奨学生は電通育英会が指定した大学院からの推薦、奨学生選考委員会での選考、面接を経て、理事長が採用を決定した。1人当りの給付金額は月額8万円で、期中の給付奨学金総額は4,480万円である。平成20年度採用者は以下の26名である(男性12名、女性14名)。

—省略—

## 3、奨学生の研修・懇親会事業<大学生/大学院生奨学金関連支出>

### (1) 奨学生(大学生)の集いの実施

大学貸与奨学生を対象に「奨学生の集い」を開催した。本会は大学生の研修と相互交流を目的としたものだが、奨学生と財団役員、選考委員、事務局との交流の場ともなっている。「集い」の前半は講演会、後半が懇親会の2部構成となっている。東京・大阪2地区で開催し、大学関係者、OB・OGも参加し、出席者合計は215名となった。

東京地区 平成20年11月10日(日) 電通本社電通ホール

講演「大学生活をいかにすごすか - 頭のいい大学4年間の生き方」

精神科医 和田 秀樹氏

大阪地区 平成20年11月9日(日) 電通関西本部大ホール

講演「わが国の格差社会の現実 - これからの社会で求められる能力をつけるコツ」

中央大学教授 山田 昌弘氏

### (2) 大学院生研修会の実施

大学院生に対しては夏期及び冬期の研修会を実施した。この研修会は大学院奨学生(国内/留学大学院生同時開催)の研修と懇親を目的とするもので、研究発表会、外部講師の講演、懇親会の構成となっている。夏期は71名、冬期は69名の奨学生が参加し、研究発表会での質疑、グループ討論等の中で、奨学生相互の研鑽と親睦が図られた。

夏期セミナー 平成20年8月9-10日 クロスウェーブ幕張

研究経過報告者 18名

講演「本気でやりたいことに果敢な挑戦を」跡見学園女子大学 中林 美恵子 准教授

冬期セミナー 平成20年12月7日 有楽町東京フォーラム

研究経過報告者 12名

講演「21世紀のキャリアデザイン」人材コンサルタント 城 繁幸氏

### (3) 修了式

平成21年3月修了予定の大学院奨学生(国内・留学)30名、及び平成21年3月卒業予定の大学貸与奨学生のうち「成績優秀による返還免除者」20名に対して、その学業研鑽と今後の活躍を祝して、平成21年3月に品川ストリングスホテルにて修了式を開催し、選考委員、大学関係者、他の奨学財団の理事長等が出席した。

## 4、その他事業

### (1) 「IKUEI NEWS」の発行〈会報費支出〉

財団と奨学生、あるいは奨学生相互のコミュニケーションの媒体として、また奨学生への有益な情報提供を目的に、会報「IKUEI NEWS」を年間4回（4月、7月、10月、1月）発行した。奨学生（貸与者、返還者）、大学関係（学長室、学生部）に加え、全国の図書館、教育研究機関にも向けて企画の充実を目指した（各号3,500部配布）。

	発行月	特集テーマ（明日への視点）	取材大学（大学を訪ねて）
Vol. 42	平成20年4月	現場から学ぶ社会人基礎力	長崎大学
Vol. 43	同 7月	キャリア教育が育む自律した学生	北海道大学
Vol. 44	同 10月	大学生研究フォーラム2008	武蔵野美術大学
Vol. 45	平成21年1月	大学生が身につけるべき力	愛媛大学

### (2) 大学生研究フォーラムの開催〈調査研究支出〉

大学生研究の深化と課題発見のため、京都大学の高等教育研究開発推進センターと共催で平成20年8月に京都大学時計台記念館にて、教育学・心理学・青年若者論・労務研究等の教員、研究者250名余の参加のもとシンポジウムを開催した。シンポジウムは、「大学生の教育とキャリア形成のあり方」をテーマに基調講演、パネルディスカッション、分科会、情報交換会の構成で行われた。21年度は7月25、26日に開催する予定である。

### (3) 大学生調査研究〈調査研究支出〉

大学生の生活意識、勉学の状況、課外学習など学生を取り巻く環境について、京都大学溝上准教授監修のもと、平成20年11月にインターネット調査を実施した（960サンプル回収）。調査結果は教育関係者の研究素材として供することを目的に電通育英会のホームページに掲載すると共に、平成21年7月に京都大学で開催される「大学生研究フォーラム」の基礎資料としても配布する予定である。

### (4) NPO・財団研究〈奨学制度研究支出〉

平成22年以降の新・公益法人への移行に備え、下記の2つの調査を実施した。

- ① 米国の非営利団体の活動報告書 米国在住の楓セビル氏に取材依頼し、米国の慈善事業のトレンド及びケーススタディをまとめた。
- ② NPO財団調査報告書 大学生の教育上有益な活動に対する助成事業のあり方を調査すべく、大学生等のボランティア、インターンシップ活動に対して支援を行う財団やNPOにヒヤリングを実施した。

### (5) 大学・高校訪問〈大学訪問支出〉

20年度は、下記の大学・高校を訪問し、当財団に対する意見、要望を聴取した。聴取した意見、要望は、財団の日々の業務に反映させるとともに、大学・大学院生奨学制度及び高校時予約の大学奨学制度の変更・改善に役立てた。

〈訪問大学〉国立；東北大学、山形大学、秋田大学、三重大学、京都大学

公立；名古屋市立大、愛知県立大、国際教養大、大阪府立大

私立；京都産業大、南山大、関西学院大、立命館大

<訪問高校>愛知旭丘高校、土浦第一高校、千葉高校、湘南高校、浦和高校、山形東高校、秋田高校、新潟高校、奈良高校、膳所高校、津高校

#### (6) 貸与金の返還業務<奨学金返還収入>

貸与奨学金の返還は、返還促進に努力を重ねた結果極めて順調で、平成 20 年度は 1 億 2,463 万円の返還があった。なお貸倒れ処理は 4 件(死亡免除 1 を含む)で 1,922,000 円を計上した。

返還が開始された昭和 43 年以降、今期末までに返還された奨学金の総額(死亡免除等を含む)は 9 億 5,426 万円となる。また、今期末における返還免除制度適用後の差額貸与額は、11 億 8,646 万円となった。

(別表 1) 平成 20 年度大学貸与奨学金支給者

平成 20 年度貸与奨学生総数:438 名、貸与奨学金総額:2 億 836 万円

—省略—

(別表2) 貸与奨学生採用状況

期	採用年度	採用		貸与人員	途中		
		人員	辞退者		辞退者	退学者	
1	昭和 40	15		15		1	
2	41	15		15			
3	42	15		15	2	1	
4	43	16		16			
5	44	15		15	1	1	
6	45	15		15	1		
7	46	16		16		1	
8	47	15		15		1	
9	48	15		15			
10	49	15		15	2		
11	50	14	1	13		1	
12	51	12		12			
13	52	19		19		1	
14	53	20		20			
15	54	21		21			
16	55	24		24			
17	56	27	1	26	1	1	
18	57	30		30	1		
19	58	28		28			
20	59	30	1	29	1	1	
21	60	35		35			
22	61	35		35	1	1	
23	62	35		35	1		
24	63	38	1	37	1		
25	平成 01	35		35			
26	02	35		35	1		
27	03	35		35			
28	04	35	2	33	1		
29	05	48		48	1	1	
30	06	46	1	45		2	
31	07	50	1	49	1	2	
32	08	53	2	51			
33	09	55	3	52			
34	10	51	5	46			
35	11	71	1	70	2	1	
36	12	102	3	99	1	1	
37	13	152	5	147	1	3	
38	14	155	8	147		3	
39	15	160	5	155	3	1	
40	16	161	7	154		2	5
41	17	161	9	152	5	5	57
42	18	164	11	153	3	6	98
43	19	161	11	150	0	4	126
44	20	160	8	152	0	1	152
	合計	2410	86	2324	35	44	438

平成二十年度の貸与者  
採用年度別↓

注；途中辞退者・退学者(飛び級含む)は採用年度基準で記載